

わたし
私らしく生きるために
(9年)



さいゆうしゅうしょう
最優秀賞

わたし たいせつ 私には大切にしたいことがあります。それは、えがお 笑顔でいることです。わたし はよく、「いつもわら 笑っているね。」といわれます。そう言ってもらえるととてもうれ しいです。えがお ひけつ いっしょ 笑顔の秘訣は一緒にいると自分らしくいられるかぞく 家族や友達としゃべることです。みんながいつもわら 笑わせてくれるから、わたし はたくさんのひと 人にそう言ってもらえます。えがお はな 笑顔で話していると、まわ 周りのひと えがお 笑顔になります。どんどん連鎖して、誰でも しあわ 幸せにできる、素晴らしいものだと思います。

しかし、そんな わたし 自分でも自分の 心 心の中で違和感を覚える時期がありました。いま わたし おんな こ 今の私は女の子になりたいとも、おとこ こ 男の子になりたいとも思いません。「自分はおんな こ 女の子」と思うことに、ときどき いわかん おぼ からだ おんな こ 心は男の子というわけでもなく、おんな こ 女の子じゃなくておとこ こ 男の子に生まれたかったというわけでもありません。ただただ、2つの性別のあいま おも じぶん 思春期も相まって、こころ 心もあいまいで、いま じぶん きも わ 今の自分の気持ちが分からなくなるときがあります。こころ からだ せいちょう 思春期には、かん ひと こう感じる人もいます。

しょうがく ねんせい 小学6年生のときにはじめて、おんな こ 女の子の友達と自分のめざしているものがちが 違っていることにき 気づきました。かぞく 家族にいつ話せば わたし おも とど 私の想いがちゃんと届くのだろうか、そのとき タイミングを うかが 伺いました。

そして3月頃、わたし はこのことを家族に話しました。わたし おんな こ い 「私は女の子と言われることが得意じゃないんだ。でも、いま げんじょう いや 今の現状が嫌になったことはないし、なん く 何の苦もなくせいかつ 生活できているんだ。自分自身が自分のことをよくわ 分かっているなくてずっともやもやする。」

いわかん 違和感があるだけのことだから、な ひつよう 泣く必要はなかったはずなのに、なぜか わたし は泣きながらせつめい 説明しました。ちち はは そふ そぼ わたし やさ あだた う 父も母も祖父も祖母も、私を優しく、暖かく受けとめてくれました。そのうえ、

「これからきもち 気持ちがかわるかもしれないから、いま あなたがしたいことをしなさい。わたし はな 話してくれてありがとう。」

と言ってくれました。ありがとう 言うべきなのは わたし ほう 私の方なのに。かぞく 家族の存在が、わたし おお ささ 自分を大きく支えてくれていることをとてもじっかん 実感しました。

また、親友にも話しました。とても勇気が必要でした。私は、緊張すると言葉が詰まってしまうので、手紙で伝えることにしました。親友には関係ないし、私のそんなことなどどうでもいいと思われてしまうだろうと思いましたが、思い切って渡しました。すると、その人はびっくりしたわけでもなく、無理に同情したわけでもなく、

「これからも親友でいようね。」

と返事をくれました。なにも緊張することはなかったんじゃないか。この人は私のことを理解してくれる人だとわかっていたのに、と悔しい気持ちになりました。その人とは、今まで通り遊んだり、前となにも変わらずに接したりしています。

それから私は、服装と髪型はできるだけ一目で性別が判断できないようにし、そうすることで今まで以上に笑えている気がします。私が最高の笑顔でいるためには、自分らしさが必要です。そして、自分らしくいられるようになり、不安が和らいだのは、家族や親友がいたからです。本当にありがとう。

もしかすると、みなさんが気づいていないだけで、性別について悩んでいる人がいるかもしれません。私が気づいていないだけで、私の周りにもいるかもしれません。もし、周りの友だちが性別について悩んでいることを教えてくれたなら、家族や親友が私にしてくれたように、まず、「話してくれてありがとう」と言いたいです。それもとっておきの笑顔で。

家族や親友といつまでも支えあって生きていくため、不安をおぼえるような世の中を生きぬくため、そして自分らしく生きるために、私は笑顔でいることを大切にしたいです。

これは私が大切にしたいことですが、みなさんは何を大切にしたいですか。